

地域志向研究概要報告書

所属・職：市川子どもの外遊びの会 代表

氏名：和田京子

研究課題：市川市における、プレーパークの平日開催におけるニーズの把握

【本研究の概要と目的】

現在、市川市内においてプレーパーク（子どもが自由に遊べる外遊びの場）の活動が定期的に行われており、年間約 3000 人が参加している。しかし、基本的に休日のみの活動となっている。他地域のプレーパークには平日に定期的に活動しているところもあり、平日における需要も相当数あると考えられる。実際に他地域のプレーパークでは、平日に活動することで子育て中の親が仲間づくりをしたり、不登校の子どもが居場所として活用したりしているという実態がある。市川市においても、乳幼児の親子のコミュニティの場や放課後の子どもたちの居場所としての利用が期待される。そこで、今回の調査において、平日のプレーパークを実施し、平日の外遊びの場のニーズを探り、子育て支援、子ども支援に繋げていきたい。

【研究方法】

① 市川市での平日のプレーパークの開催

普段活動している場所で、平日にプレーパークを実施した。

活動日：平成 30 年 6 月 13 日、7 月 4 日、9 月 12 日、10 月 10 日、11 月 14 日、
12 月 5 日の計 6 回（小学校が早く終わる短縮日課に合わせて実施）

場所：宮久保プレーパーク（市川市宮久保 1 - 8）

活動時間：10 時～17 時（11 月、12 月は 16 時まで）

調査内容：参加者名簿を作成し、参加者の年齢構成を把握し、休日との比較を行った。
参加者（保護者及び小学生）に、平日のニーズを探るアンケートを行った。

② 他地域の実態調査

他地域で、継続的に平日開催しているプレーパーク（千葉市、四街道市）に出向き、参加者及びスタッフにアンケート調査を行った。

調査場所：(1)千葉市子どもたちの森公園 週 5 回（月、火、金、土、日）開催

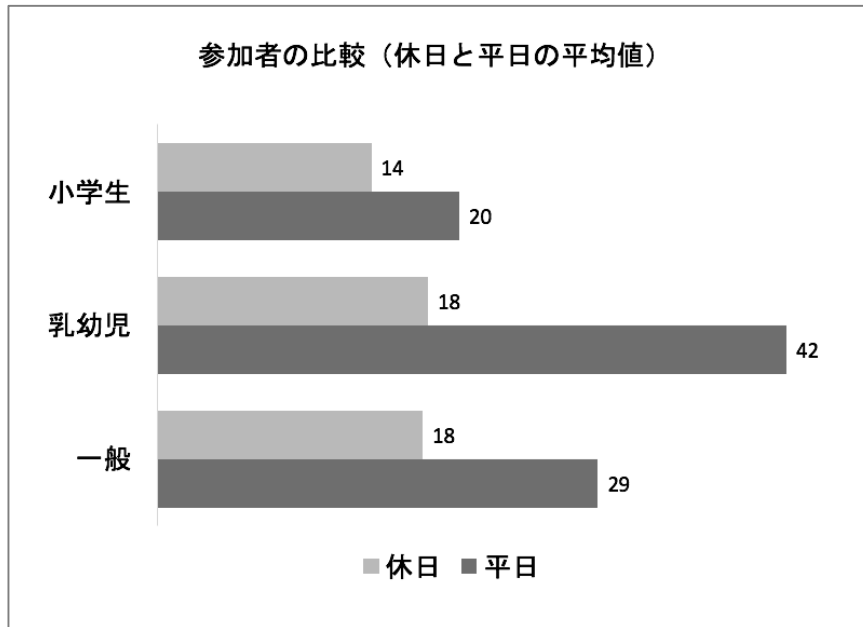
(2)四街道プレーパークどんぐりの森 週 3 回（毎週月、金、土）開催

【研究結果】

① 休日と平日の比較

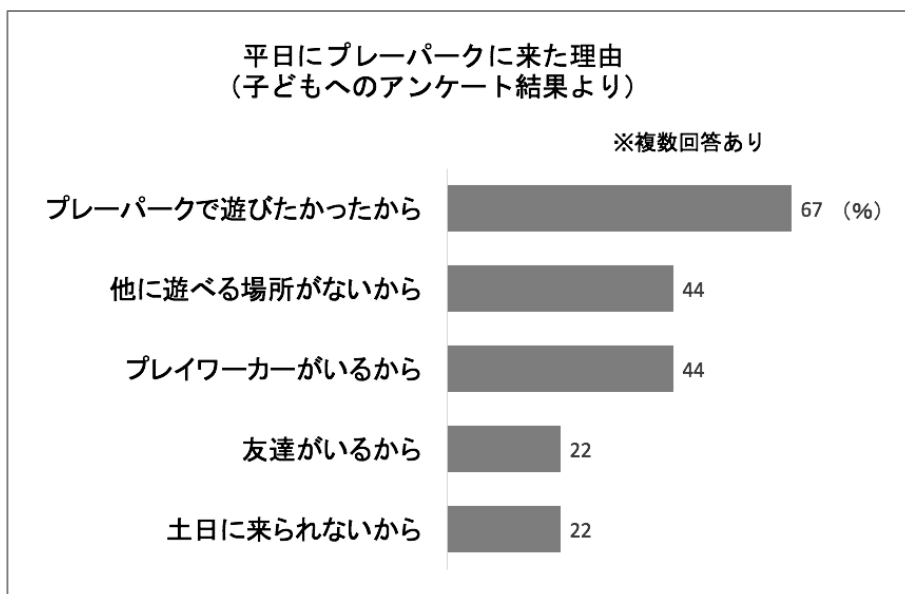
休日と平日の参加者の平均値を算出し、人数の比較を行った。

小学生、乳幼児、一般のすべての区分において、休日よりも平日の参加人数が多くなっている。特に乳幼児については、休日 18 人に対して平日 42 人と、倍以上の参加があった。



② アンケート結果（小学生）

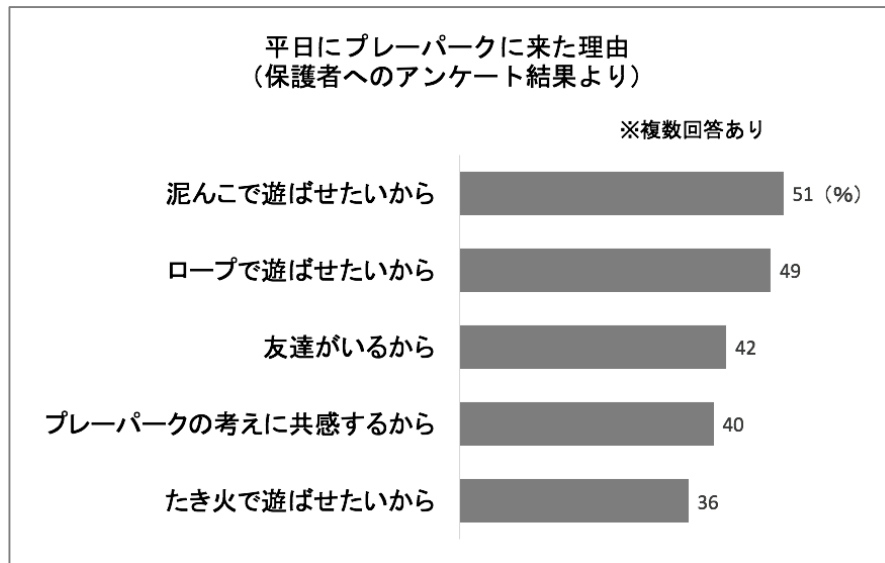
小学生を対象に「平日にプレーパークに来た理由」について回答をもらった。



③ アンケート結果（保護者）

保護者を対象に「平日にプレーパークに来た理由」について回答をもらった。

また、このほかに保護者の声として、「親子で遊びに行ける場所が少ない」「外遊びできる場所がほとんどない」といった声もあげられた。



④ 他地域の実態調査

他地域（千葉市、四街道市）のプレーパークに調査を行ったところ、以下のことがわかった。

- ・平日は乳幼児親子の参加が多い
- ・午前中は不登校の子ども（小学生～高校生）の居場所にもなっている
- ・夕方は学校帰りの子ども（小学生～高校生）が多い

【まとめ】

本研究により、以下のことがわかった。

- ・平日の方が休日よりも参加人数が多い
- ・プレーパークで遊びたい子ども、遊ばせたい保護者が多くいる
- ・平日のプレーパークが乳幼児親子の居場所になっている
- ・外遊びできる場が少ない（公園はあるが、自由に遊べない）

以上のことから、平日のプレーパークの需要は十分にあり、継続した取り組みが必要になると言える。